

(資料2) 橋本市デマンドタクシー運行状況表

資料2

■2019年1月～2020年3月 全ルート利用状況表

(再編後)

年	月	日数	台数 (件数)	内 乗継件数	利用者数	内 乗継人数	利用者 負担金額	市 負担金額
2019	1	8	12	4	14	5	2,200	27,440
	2	7	10	3	11	4	1,700	23,000
	3	6	8	3	9	5	1,100	18,660
	4	6	7	1	9	2	1,500	15,790
	5	13	16	0	16	0	3,200	36,320
	6	14	16	0	17	0	3,400	36,120
	7	12	14	0	14	0	2,800	31,780
	8	13	14	0	13	0	2,600	31,980
	9	14	19	1	20	2	3,700	43,230
	10	6	7	0	6	0	1,200	16,440
	11	10	11	0	12	0	2,400	25,320
	12	4	6	0	6	0	1,200	13,920
	合計	113	140	12	147	18	27,000	320,000
2020	1	31	43	1	50	1	9,200	96,640
	2	31	49	3	50	3	9,400	106,520
	3	46	70	5	72	5	13,500	162,900
	合計	108	162	9	172	9	32,100	366,060

■2020年1月～(再編後) 各ルート利用状況表

2020年1月～3月	日数	台数 (件数)	内 乗継件数	利用者数	内 乗継人数	利用者 負担金額	市 負担金額
杉尾線	2	3	0	4	0	800	6,760
紀見峠線	11	13	0	14	0	1,800	30,960
吉原線	12	23	3	22	3	4,000	53,960
山田・出塔線	39	63	5	60	5	11,200	137,480
あやの台線	9	12	0	12	0	2,400	27,840
フルーツライン線	3	3	0	4	0	700	6,860
竹尾・嵯峨谷線	11	14	1	14	1	2,800	32,480
九重・田原線	21	31	0	42	0	8,400	69,720
合計	108	162	9	172	9	32,100	366,060

■分析及び展望

・再編後3か月にして、2019年のデマンドタクシー利用者数を超過している。
 ・新型コロナウイルスの感染拡大による、外出自粛・公共交通機関忌避の風潮で、この利用者数は、今後の展望に一定の期待を抱かせるものである。再編が、利用者のニーズに沿ったものであることの証左と言えよう。

・とりわけ、山田・出塔線は、全利用者の3割以上を占めている。紀和病院前の利用者が大半である。市民の医療へのアクセスという点においても、一定の貢献ができていいるものと考えられる。

・コミュニティバスの分析でも述べたように、いっそうの広報とソフト面での利便性向上に努めたい。